



2003 ~ 2004 年度
R I テーマ

Lend a Hand 手を貸そう

四つの重点分野：貧困・健康・識字・ロータリーファミリー

Lend a Hand

国際ロータリー会長 ジョナサン B・マジリアベ(国籍・ナイジェリア カノ)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ トキ八別府店 7F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
〒874-0931 FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:beppu4rc@fat.coara.or.jp

理事 森 宗明 理事 鳴海淳郎 役員 会長 後藤 隆 S A A 中島澄人
" 村津忠久 " 溝部 仁 副会長 森 宗明
" 後藤健介 " 梶田健治 幹事 小川雅代
" 河村貴雄 " 会計 岩尾昭治

VOL . 16 - 42
2004年6月1日

第 730 回 例会

編集 中島 澄人

点 鐘 12 : 30

体 操 自律神経強化体操

国 歌 君ヶ代

R . S . 我等の生業

唱 歌 夏は来ぬ

B . G . M . 「日本フィルできく
美しい日本のうた」より
中国地方の子守唄
宵待草
五木の子守唄 他

ゲ ス ト ^{チェー}張 ^{ピン}敏 君 (米山奨学生)

会長の時間 会長 後藤 隆

5月27日に、溝部会員・森副会長・小川幹事とともに、別府中央RC15周年のアルバムを持って、病気療養中の宮地会員のお見舞いに行ってきました。お元気そうな姿に復帰も近いのでは？と、ほっとしました。宮地会員の1日でも早い回復を皆さんとともに祈りたいと思います。

出席報告

委員長 佐藤 民子

本 日 の 出 席	会 員 総 数	24 名
	出 席 者	18 名
	事前メイクアップ	4 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	0 名
欠 席 数	出 席 率	78.26 %
	出 席 率	56.52 %
前 々 回 の 訂 正	事後メイクアップ	6 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	0 名
	5/18 修 正 出 席 率	100 %
連 続		7 回
通 算		665 回 100 %

・メイクアップ

事前 岩尾、梶田、平野 (別府)、溝部 (別府東)
事後 近藤 (大分臨海)、河村 (別府)、
土谷 (別府北)、梶田、薬真寺 (別府東)、
小川 (2004国際大会)
欠席 大島

幹事報告 幹事 小川 雅代

- ロータリー親睦活動月間 -

1 . 本日の卓話
『2004年国際大会 (関西) 報告会』

2 . 本日のゲスト
^{チェー}張 ^{ピン}敏 君 (米山奨学生)



3. ローターリー適用相場変更のお知らせ

6月1日より、全ての振込みに対する適用相場（ロータリーレート）が下記のように変更されますのでお知らせ致します。

1ドル 112円（現行 106円）

4. 5月30日（日）13：30～別府湾ロイヤルホテルに於いて「RI第2720地区日出ロータリークラブ創立20周年記念式典」が開催されました。

登録者：後藤 隆、鳴海淳郎、村津忠久
各会員

5. お祝い

結婚記念日 森 宗明さん（6月5日）
* ご自宅にお花が届きます。

6. 例会変更のお知らせ

大分中央RC 6月9日（水）の例会は、夜例会の為 同日18：30～大分第一ホテルに時間変更

大分城西RC 6月9日（水）の例会は、クラブ協議会の為 同日18：30～大分全日空ホテルオアシスタワーに時間変更

別府東RC 6月17日（木）の例会は、会長・幹事慰労会の為 同日18：30～ホテルニュー松実に時間・場所変更

大分東RC 6月17日（木）の例会は、夜の例会の為 同日18：30～欧風料理「ウエダ」に時間・場所変更

大分南RC 6月18日（金）の例会は、さよなら夜の例会の為 同日18：00～大分東洋ホテルに時間・場所変更

大分1985RC 6月21日（月）の例会は、親睦例会「会長・幹事慰労会」の為 同日 18：30～割烹「にしおか」に時間・場所変更

大分RC 6月22日（火）の例会は、新年度クラブ協議会の為 同日18：30～トキ八会館6Fに時間・場所変更

7. 本日例会終了後、13：40～「第12回定例理事・役員会」を開催致します。

8. 次週の予定

「第4回（新・旧）クラブ協議会」

* 協議会は全員参加です。（特に入会3年未満の会員の方は是非ご出席下さい。）

各委員会の委員長で万一欠席される方は、必ず代理者を幹事までお知らせ願います。議事の進行上ご協力をお願い致します。

9. 本日の回覧

「第4回（新・旧）クラブ協議会」 出欠席

* 先般配布致しました「委員会活動計画・報告」がクラブ協議会の資料となります。準備の都合上、至急、事務局へご提出下さい。今年度・次年度委員長の皆さん、ご協力お願い致します。

「会長・幹事慰労会」 出欠席

2004年国際大会 読売新聞＜特別版＞

10. 本日の配布

ロータリーの友 6月号

週報729号

2004年国際大会：大会日報 前岡志郎PGリ

「第95回国際ロータリー年次大会に出席して」

（R情報委員長：鳴海淳郎）

スマイルボックス 委員長 村津 忠久

宮地会員

新緑のさわやかな季節となりました。

27日早朝より辺鄙な自宅まで溝部先生はじめ小川様、後藤様、森様におこしいただき、家内が取り散らかしているとの事で室内にご案内もせず大変御無礼いたしました。会員の方の中にも芸事に詳しい方もいらっしゃるようですが、芸人のだらしなさと言われない様に私の底力をはって参りました。いつまでも甘えてはいけないのではないかと思い、皆様のありがたいお話を門弟にしましたら、その中の1人が「先生もう例会に行かれたら」と申しました。季節もよくなりましたので、ぼつぼつ寄せていただこうかと思っております。まずは4人の先生方に感謝のスマイルをさせて下さいませ。ありがとうございました。

後藤会長

日出ロータリークラブの20周年に出席しました。我クラブは15周年をコッソリやって良かったとつくづく思いました。

鳴海会員

今度の国際大会出席は、実に親睦とインスピレーションの旅でした。お世話いただいた小川幹事さんと皆さんに感謝してスマイル致します。

上妻会員

今年度もいよいよ最終月となりました。来年度につながるような充実した例会を実行すべくお互いに協力しましょう。

葉真寺会員

枯渴したと思われていた大屋根下の温泉がポンプとパイプのメンテをおこなった結果、息を吹きかえたようです。温度35°～41°の温泉で、一日4時間ほどでとまってしまいますが、一日10時間供給が継続的に可能な場合、トキ八足湯として開設したいと思います。

河村会員

来週は沖縄出張の為、クラブ協議会に出席できません。活動報告書と活動予定書は事務局に提出しております。おわびしてスマイル。

森会員

結婚記念日のお祝い、「命びろい」です。忘れとりました。熊本出張なので同行させることにします。

米山奨学生の張君、好青年です。皆さんよろしくお祈りします。

土谷会員

先週の金曜日に由布山を走って登ってまいりました。帰る途中(下り)ですってんころり。背骨を骨折してしまいました。やはり、今年は本厄でした。厄払いをこめてスマイルします。

近藤会員

あいにくの梅雨ですが、6月1日夜替えでシャツを半袖にしました。やっぱ夏は半袖がよいですネ。涼しさにスマイル。

吉富会員

次週のクラブ協議会には、仕事にて欠席致します。報告にかえてスマイル致します。

村津会員

先週金曜日、サザンクロスの講座「おもしろ人生学」に講師として招かれ、「妻と歩いたデュエット人生」と題して、2時間程お話ししました。受講生として聞いて下さった衛藤会員に感謝してスマイル。

今年度のスマイル、先月まで510件、948,000円です。あと一ヶ月、あと12万円で昨年位のレ

ベルに達します。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

卓 話

国際ロータリー 2004年国際大会に参加して
会長 後藤 隆

5月22日～5月24日まで大阪で開催された国際大会に、後藤隆、鳴海淳郎、溝部仁、梅津ヤヨイ、小川雅代、上妻浩、森宗明、木村きぬゑ、津末美代子、大島由美子、土谷昌秀。の11名で行って参りました。当日大阪ドームは47,000人の世界中から集まったロータリアンで埋め尽くされました。マジアペR I会長による歴代会長の紹介などもあり、感激して帰りました。翌日、京都観光をしながら、修学旅行のノリで楽しい時間でありました。同行頂いた皆さんお疲れさまでした。



卓 話

『日露戦争百周年に想う』

後藤 健介

露国バルチック艦隊と旅順艦隊

明治27年(1904年)日露開戦時、ロシア海軍は欧州正面、極東正面に2セットの艦隊を保持しておった。

そのひとつは、旅順軍港を主根拠地にする艦隊主力と、一部をウラジオストック軍港を基地とす



る旅順艦隊である。もうひとつの艦隊は主力をバルト海に一部を黒海に展開する艦隊である。

このいずれの艦隊の戦力も日本の聯合艦隊の戦力と互角であった。

即ち、露国が保有する艦隊の戦力は日本の聯合艦隊の2倍であった。

2月10日の日露開戦と同時に日本陸軍は、一部（黒木第1軍）を朝鮮半島から、主力（奥第2軍、野津第4軍）を遼東半島へ直接上陸させ、北進中であった。

一方、ロシア陸軍は満州に駐在する極東陸軍20万に加え、開通したばかりのシベリア鉄道により欧州正面から続々と兵力を増強中であった。

満州大陸に展開中の日本陸軍10万にとってのアキレス腱は日本本土（広島宇品港）から満州大陸へ兵員、弾薬等の海上輸送する航路がロシア旅順艦隊によって、妨害遮断されることである。

海上輸送路が遮断されると、満州大陸に展開中の日本陸軍は孤立し、干上がってしまい、敵と戦わずに自滅してしまうことになる。

東京の大本営が聯合艦隊司令長官の東郷平八郎大将に下命した至上命令は、まず欧州と極東正面に二分されたロシア艦隊のうち、旅順艦隊を海上決戦により速やかに撃滅し、海上輸送路の安全を確保（制海権の確保）することであった。

しかし、旅順艦隊は欧州正面の艦隊の来援を得て、2倍の戦力を結集して、聯合艦隊を撃破する戦略のもとに、旅順要塞に援護された旅順軍港の奥深く引籠って出撃してこようとしなかった。

聯合艦隊は旅順艦隊を外洋へ誘い出し撃破しようといういろいろな策を講じたが、一向にラチが明かない。ここで考え出されたのが旅順軍港の外洋への出口に汽船を沈め航路を閉塞してしまおうとする海上作戦であった。また、旅順要塞を背後の陸地から攻撃し、港内に引籠っている旅順艦隊を陸上からの砲撃により撃破しようとする作戦が乃木第3軍による旅順攻撃であった。

旅順港閉塞作戦と軍神・広瀬中佐

旅順軍港の出口を沈船で閉塞し、ロシア旅順艦隊を軍港内に封じ込めてしまおうと云うアイデアは、聯合艦隊作戦参謀・秋山真之中佐の腹案のひとつであった。

秋山参謀は大尉時代選ばれて米国海軍大学校に留学した。この時期、米国とスペインとの間に

戦争が勃発し、スペインの植民地であったキューバのサンチャゴ軍港を根拠地とするスペイン艦隊を沈船で軍港内に封鎖する作戦を米海軍が実施した。秋山大尉は観戦武官として米海軍の軍艦上からこの作戦をつぶさに観戦したのであった。

しかし実際にこの作戦を実行するには兵員の死傷が多いとして、聯合艦隊の東郷司令長官も秋山参謀も乗り気ではなかった。

しかし、現場の有馬良橘中佐（後の海軍大将）、広瀬武夫少佐らの熱烈な進言により、決死隊を募集編成して実行されることになった。

下士官以下の隊員は、ひろく艦隊から志願者をつのった。67名の募集に対し、2,000名以上が応募し、なかには血書をして志願する者もいた。

明治37年3月4日、有馬中佐を指揮官とする決死隊67名が5隻の汽船に分乗し、夜陰に紛れて旅順港口に接近したが、旅順要塞と港内に停泊中の旅順艦隊の砲撃に妨害され、汽船は沈めたものの沈船場所を間違えて、作戦は失敗に帰した。

引き続き3月27日に第2次作戦が敢行された。汽船福井丸の指揮官として再び作戦に参加した広瀬少佐は港口近くまで接近したが、敵駆逐艦の魚雷攻撃を受けた。船は大爆発をおこし船底が裂け沈没しはじめた。救命ボートで乗員全員脱出しようとしたが、隊員の一人、杉野上等兵曹の姿が居ないことに気づいた。広瀬少佐は再び沈みつつある船にとって返し、「杉野は居るか！」「杉野！杉野！」と大声で叫びつつ船内を隅々探したが杉野上等兵曹の姿は見当たらなかった。この間にも船は刻々と水面下に沈んで行く。もうこれまでと船内に仕掛けた爆薬の起爆装置に点火し、舷側から救命ボートに乗り移り発進しようとしたその瞬間、敵の巨弾が飛来し、広瀬少佐を直撃した。次の瞬間乗員が見たものは、少佐の一片の肉塊のみであった。

その後も閉塞作戦は第4次まで敢行されたが、十分な成果を得られることなく作戦は打ち切られた。

これ以降、聯合艦隊は全力でもって旅順港外で敵艦隊の出撃を監視しつつ、バルチック艦隊の来航を待つという窮地に陥ることになったのである。

「前門の狼（旅順艦隊）、後門の虎（バルチック艦隊）」に立ち向かわねばならない状態になった。